

<p style="text-align: center;">都市環境情報論 Urban Environmental Information Study</p>	<p>(教員名) ベンカテッシュ ラガワン, 米澤 剛、<三田村 宗樹>, <升本 眞二></p>	
<p>都市情報学専攻 展開科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2017 年度・前期集中</p>
<p>I 科目の主題 都市圏における種々の環境・災害問題は、その都市が立地する地形・地質・植生などの自然環境とそこに関与する人為とが複合して生じている。これらの問題を改善・軽減するためには、その要因となる都市をとりまく多様な空間情報を集約して、各種問題の現象把握と発生機構を考慮し、その上で集約した空間情報からこれらの問題に関わる将来予測と評価を行う必要がある。</p>		
<p>II 授業の到達目標 この講義では、都市圏の環境問題・災害問題に関わる地下を中心とした空間情報の基礎とその応用事例などを学ぶ。また、テーマごとにディスカッションを行うことによりこれらの情報の活用方法などの理解を深める。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画 つぎの7つのテーマにわけ、連続した講義で行う。それぞれ講義内容の理解を深めるためのディスカッションも合わせて行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市環境情報の収集と解析 (1) GIS による情報収集と解析 (升本) 2. 都市環境情報の収集と解析 (2) リモートセンシングによる広範囲の情報収集 (升本) 3. 都市環境情報の収集と解析 (3) 都市開発と環境モニタリング (ラガワン) 4. 時空間情報を用いた都市変容分析 (米澤) 5. 大阪地盤の形成過程と特性 (三田村) 6. 地盤モデルの応用例 (三田村) 7. 地盤モデルの活用法とディスカッション (三田村) 		
<p>IV 事前・事後の学習内容 特に必要なし。</p>		
<p>V 評価方法 各担当者が与える課題に関するレポートを総合して評価する。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント GIS やセンサー技術および地盤に関する基礎的部分は説明する予定であり、これらの詳細な知識は必要としない。</p>		
<p>VII 教材 教科書は指定しない。資料を授業において随時配布する。</p>		